

志教育の視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
--------	----------------------

活動名	街ミッション
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	第1学年
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びと地域社会を結びつけ、現状を理解するとともに、課題解決を目指す意識を養う。 ・ 対話力や聞く力を養い、積極性や協調性等、社会人として必要な素養を身につける。

【実践内容】

本活動は訪問を承諾してくれた地域の企業から課題をいただき、その課題を解決する方法を探り企業にプレゼンテーションするという活動である。中心的な活動の行うのは3日間で、1日目は企業訪問を行い、様々な活動を体験することでその企業についての理解を深め、課題を与えられる。2日目は学校に戻り、班員同士で課題を解決するための手法を考え、プレゼンテーションの準備を行う。3日目は再び企業を訪問し、課題解決のためのアプローチ法を提示し実践できる物があれば実践をする。その後、企業からの講評をいただき、振り返りを行う。この活動を後日プレゼンテーション資料にまとめ、学校で発表会を行う。体験したことをまとめ発表することで自己の成長を実感し自己肯定感を感じさせることができた。

振り返り（アンケートより抜粋）

【生徒】

- ・ 高校で初めて自分の特技を活かせる機会があって嬉しかったです。
- ・ 先生目から離れた場所での活動でももちろんうまく行かない点もあったけれどその度に自分たちなりに考えてその場でカバーするなどができるようになりました。
- ・ 思っていたよりも子供の相手をするのが大変だと気づいたり、どんなふうに接したらなかよくなれるかたくさん考えることができた。
- ・ 誰かに向けて自分の考えた案を発表することが苦手で避けてきたことなので、今回挑戦してかなり苦手意識が薄れました。

【企業】

- ・ 積極的に自分から動くように活動に取り組んでくれていました。お母さん方や、小さい子どもたちにも配慮した言葉使いだったり、地域交流を楽しんでいる様子が伝わりました。
- ・ はじめは緊張していましたが楽しそうでした。積極的にコミュニケーションを取っており活動的でした。
- ・ わからないことなどを積極的に質問して頂けたりと、真剣に課題に取り組んでいる様子でした。
- ・ 利用者との交流の時間は、最初少し緊張する様子がみられたものの、慣れてくると自分から声をかけに行く様子がみられました。高校生だけの作戦タイムを設けた際は、自分たちで役割分担をして、提案づくり及び発表に取り組んでくれていました。
- ・ やさしく積極的に関わっていた。男子生徒のミッションがこちらの期待通り工夫されたゲームになっていてとてもよかった。
- ・ 高校生の元気なパワーと愛嬌が素敵でした！高齢の方にとっても可愛がられていました。
- ・ 日々同じ職員、利用者に関わっている中で、高校生と一緒にお話しをして、レクリエーション活動をして、利用者も職員も楽しかった様子でした。
- ・ 職員にはない発想での提案をもらうことができた。子ども関係の仕事に関心がある高校生とつながることができた。
- ・ 生徒達に活動を知ってもらうことができた。若い視点、客観的な視点を取り入れたチラシを作成していただいた。担当したスタッフの勉強にもなった。
- ・ 児童が高校生と交流する機会がほとんどなかったので、とても良い機会となった。また、本校は、放課後教室を開いているので街ミッションとうまくマッチングしました。



幸満つる 野蒜農園での活動を通して



活動内容

【1日目】

- 事業所説明
 - ・障がい者や障がい者手帳について
 - ・ミッションについて
- 職業体験
 - ・野菜の収穫～袋詰め作業



事務所説明

「幸満つる野蒜農園」という名前の由来は、幸で溢れる、幸せをみんなで分かち合えるという思いから来ているそうです。

取り組みとして地元の障害のある方々、アクティブシニアの方々を社員として採用し、無農業にこだわった農産物栽培をしています。

活動内容

【3日目】

- チラシの修正
- 課題発表
 - ・チラシ発表
 - ・事前課題DE&Iについて調べたこと



※ダイバーシティエクイティ&インクルージョン

ミッションについて



- ・与えられたミッション
 - 定期販売会（BLC）での事務所PRチラシの作成**
- ・ミッションを与えられた理由

これまでのチラシは業者の方に依頼して作成してもらったもののため、情報の更新を行う必要があったから。

ミッションについて

- 〈工夫した点〉
 - ・それぞれ自分の考えるいちばん伝えたいことがお客さんに伝わるようにデザインを工夫した。
- 〈事業所さんの反応〉
 - ・たくさんお褒めいただいた。
 - ・自分たちだけでは気づけなかったデザインのアドバイスをいただき、チラシのクオリティを更に高めることができた。



ミッションについて

- 〈振り返り〉
 - ・はじめてのチラシ制作で不安なことはたくさんあったが、全員が全力で制作に取り組むことができた。
 - ・事業所さんからいただいたアドバイスを参考に、それぞれのチラシをさらに良いものにできた。



グループ振り返り

- 〈うまくできたと思うこと〉
 - ・いろいろなことに興味を持ち、分からないことはすぐ質問することを意識しながら行動できた。
- 〈難しかったと思うこと〉
 - ・初めての経験が多く、慣れないことも多かった。ミッションでは伝えるべきことを伝えられるようなポスターを作ることが難しかった。



個人振り返り

- ・班長としての自覚を常に持ちながら行動した。
- ・ミッションを通して今までの進路とは少し違った進路について考えることができた。
- ・ミッションの経験をこれからの探究活動や自分の進路などに活かしていきたい。

個人振り返り

- ・グループで活動する中で連携を取ることができた。
- ・消費者としてではなく産業者側としての目線をしることができた。
- ・ミッションでの経験を今後、最大限に活かしていきたい。

個人振り返り

- ・グループで活動する中で連携を取ることができた。
- ・消費者としてではなく産業者側としての目線をしることができた。
- ・ミッションでの経験を今後、最大限に活かしていきたい。